

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	19	学校名	奈良北高等学校
----	----	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	おうちDEサイエンス 2023
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	数理情報科1年生「SS探究基礎A」及び2年生「SS探究AI」数理情報科の探究活動の成果を地域や地元の小学生に発信することにより、社会に対する視野を広げ、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力及び人間性の涵養につなげる。
連携・協働相手	近隣地域自治会、生駒市内小学校、生駒市教育委員会 清栄薬品株式会社
地域と共有している目標・課題等	本校はけいはんな学研都市にほど近く、サイエンスを身近に感じることができる地域にある。数理情報科を有する県立高校として、特徴を生かした地域交流を進めていく。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>「おうちDEサイエンス2023」は、小学生が保護者と家庭で手軽にできる実験や観察についてのコンテンツを作成し、Webサイトや冊子で生駒市立小学校等に提供する取組である。7月には生駒市内の小学生を学校に招待し、本校生と一緒に実験を行う実験会を開催した。10月には本校の地域交流イベントの一環として「地域DEサイエンス」を開催し、本校近隣の小学生等を対象に実験会を実施した。また、公開講座「サイエンス・カフェ」を実施し、地元企業である清栄薬品株式会社の清水幸子氏に御講演いただき、地域の方や本校生、教員が交流を深めた。その後も同社のクラフトコーラの開発にあたり、ネーミングやパッケージ制作等に連携・協力している。</p>	

2. 事業の成果と課題

小学生を招待しての実験会を令和5年度は2回実施できた。両方に参加した生徒の対応や説明が、秋には格段に向上していた。行った実験は「魚が浮いたり、沈んだり!」「日光写真を体験しよう!」等8つのコンテンツで、小学生はそれぞれに好奇心をかきたて、高校生との充実した時間を過ごしていた。また、はじめて「サイエンス・カフェ」を開催し、その後の地元企業との連携を進めることができた。今後も地域との協働活動を、他の教育活動の場面に拡げていくことが課題である。

【生徒の感想】

- ・地域の方とこのように交流するのは初めてで、とても新鮮で楽しかった。
- ・これを機に科学への興味や関心を多くの人に届けることができたのではないと思った。

